

新たな観光の手法として 「浜益学校(仮)」の構想を練っています



まち協では

- ・ どうしたら浜益に人を呼び込めるか
- ・ きちんと稼げる体験型観光を作るには
- ・ 地域にある自然資源を活かすためには

などを話し合い、今後きちんと形にできるよう取り組んでいるところです。

先日も企画部会の中で話し合いましたが、浜益は黄金山やお祭り、荘内藩陣屋跡、そしてルッツをはじめとする食文化と、アピールしたいものがたくさんあり、どこに焦点を絞るかとなると、とても悩むのです。

そこに突破口となりそうなアイデアが出ました。それが「浜益学校」構想です。

音楽

浜益豊漁太鼓体験
川下八幡神楽見学
など



家庭科

果物でジャム作り
魚のさばき方と料理
など

体育

黄金山登山
まちなか歩き
など



例えば、浜益弁を「国語」荘内藩陣屋跡を「歴史」食文化を「家庭科」と教科別に振り分け、お客さんが興味のあるものを選択してもらいます。決まりきったルートではなく、自分だけのプランを実現できるというのは、好奇心旺盛なお客さんの心をくすぐるのではないのでしょうか。まだまだ細かな面を調整中ですが、「選択できる観光」の土台を作っていこうと考えています。



夏休み 特別子ども 企画



第2回「まちたんけん」群別を歩きました

夏休み真っ最中の8月5日、2回目のまちたんけんを行いました。今回探検したのは「群別」です。子どもでも小1時間ほどで回れてしまうコンパクトな地区の色々を見ってきました。スポーツセンターに集合して、まずは旧保育所へ向かいました。今は物置となっていますが、覗いてみると昔の名残があり、子どもたちは興味しんしん。保育所の奥には戦没者を追悼する「忠魂碑」もありました。

その後はメイנסトリートを歩き海の方へ。つくりが特徴的な木村さんの家や、唯一の商店を探しながら歩きました。海に出たところでお昼休憩です。おにぎりを食べて、栗生さんの売店でかき氷を買って、海で遊んで。たっぷりと涼みました。

最後に向かったのは自治会館です。昭和初期に建てられた、2階に棧敷席のある会館なんて、他になかなか無いのでは。

暑い中、小まめに水分補給をしながら無事ゴールしました。「次は幌に行きたい！」なんて声もありました。また企画しますので、ぜひ参加してくださいね。

見慣れない顔がいるなあ、なんて思った方がいるかもしれません。札幌のZOO法人エソロックのお兄さんお姉さんが、春のまちたんけんに引き続きサポーターに来てくれました。こんな感じで、区外からの関係人口も増やしていけたらいいなと思っています。



大通りビッセで浜益をPRしてきました！



7月2日・3日の2日間、札幌の大通りビッセにて観光プロモーションを行いました。

昨年からは浜益地区の「奴道中とさくらんぼ狩りを楽しむツアー」を開催している、アミーケ・インターナショナル株式会社さんからお声がけいただいた企画です。

都会のご真ん中で、奴道中の衣装やカラフルな法被に身を包み、浜益に関するアンケートに協力してもらいました。会場では浜益産シヤムの試食や、アンケートに答えてくれた方に浜益のお菓子をプレゼント。

その場で浜益行きツアーに申込みされた方には、さらに豪華な景品があったりと、区内のみならずにも提供品のご協力をいただきました。

おかげさまでプロモーションは好評に終わることができました。ありがとうございます！

まち協HP

フェイスブック

情報発信を始めて約1年



インターネットで情報を発信するようになって、約1年が過ぎました。フェイスブックページは、多い時で千人以上の人に関連されるようになりました。まち協ホームページの方には問い合わせメールが来るように。内容としては、キャンプ場の利用方法や昔住んでいた方から地区についての疑問などでした。少しずつ、確実に「浜益」を知ってもらえる機会が増えていっているように感じます。

新鮮な浜益情報を発信したので「こんなイベントあるよ」「こんな新商品出たよ」などなど、大いに関わらずお知らせいただけると嬉しいです！

柿岡または渡辺（真）までどうぞ。

まち協・協力案件いろいろ

- 6月29日～爬虫類生息調査
- 7月20日～オオムラサキ生態調査&昆虫採集
- 8月19日～黄金山取材に同行

7/15浜益地区祭典にも参加しました！



エソロック所属大学生ゆーみんの浜益交流日記

初めて浜益に行ったのは2年前の冬で、スノーシューを履いて、黄金山の麓に生えている巨木のイチイを見に行きました。奈良県出身の私にとって、その冬は初めての北海道の冬で見るもの全てが新鮮で、深い雪の道のりが楽しくて仕方なかったのを覚えています。

夜は「ぴあす」でジュースをご馳走になりました。初めてのスナックで、浜益の空気感に触れてなんだかとても楽しい夜でした。奈良の

田舎育ちの私にとって、田んぼがあったり、山があったり、人の繋がりがすごく見える浜益はなんだかとても心地よくて、私もこの町の人たちともう少し近くなりたいと思うようになりました。

そんなこんなで、浜益に足を運んでいると毎回何かしら面白い発見があり、噛めば噛むほど味があって、いつも浜益に行くのを楽しみにしている自分がいます。先日参加した群別地区まちたんけんでは、子どもたちと一緒に、ここで住んでいないと絶対にわからない絶品カキ氷を食べたり、海辺で子どもたちと魚を追いかけたり、とってもとっても楽しかった！

自分だけが浜益を楽しんでいたらもったいないとすごく思うので、いろんな人と一緒に来たいなあと思いました。これからも浜益でもっといっぱい好きな景色や、素敵な人を見つけていきたい！もし見慣れない顔の若者がいたら、温かく見守って下さい。声もかけて貰えると、とってもとっても嬉しいです。よろしく願います！